



自分で考え行動します

自分の意見を主張しますが、相手の意見も受け入れ、友だちへの思いやりを深め、一緒に喜んだり悲しんだりするなど、周りの人々に対する親しみを深め、人の立場を考えながら行動できるようになっていきます。

section 25 5歳児の保育

自己発揮することで集団生活が充実します

自ら考え、善悪の判断ができるようになり、行動で示せるようになります。仲間を思いやる心、仲間と一緒に生きていく力を身につけるには、一人ひとりが大切にされ、自分の意志をはっきりと表現することから始まります。まず自分が「イヤ!」と言えること、そして自分の考えで「いいよ、どうぞ」と言えることです。困難に立ち向かう勇気、乗り越える力を養うと同時に、友だちと力を合わせて育ち合うことを大切にします。

子どもの考えは、まず尊重 「心の中の思い」に目を向けて共感します



目的を持って行動します

1つの集団として目的を持ってみんなで何かに取り組んだり、頑張れる機会を重ねていきます。グループを作り、その中で独自のルールを決めたり話し合っていく中で、自分の考えを人に伝えたり、相手の意見もよく聞いて、話し合いの場を作れるようになります。自分の意見を言えるようになるには、まずは子どもが自分に自信を持てるのが大切です。子どもたちが何かをしたいと考えたときには、できるだけその気持ちやチャレンジ精神を認め、大人の信頼の中で安心してチャレンジしていける環境設定をし、子ども一人ひとりに得意なことを手に入れてもらえるように働きかけます。



さらに充実した遊びができるように

5歳児になると、ルールのある遊びが主体となってきます。自分たちで考えを出し合い、さらにルールを作り、遊びを発展させていきます(氷おに、手つなぎおに、ドッジボールなど)。そして、友だちと一緒に遊びを広げていく楽しさを感じ取ることができるよう、保育者は子どもたちの遊びを見守り、援助し、支えています。また自分たちで遊ぶおもちゃを作ったり、コマやあやとり、お手玉などの伝承遊びをくり返し、さらに上達したいという気持ちから遊びを深めていきます。子どもならではの工夫を凝らし、その力が自信となり次に挑戦する力となります。



就学に向けて

みどり保育園や他園との年長交流保育を通じて今まで一緒に遊んでいなかった友だちと話す機会を設け、大きな集団での行動をしていく経験をしめます。自分のことは自分でできるようにしたり、自分の役割を責任を持って果たすことができるようになります。生活リズムを整えることはもちろんですが、公共のマナーや交通ルールを守る、公園のものを大切に使う、人の迷惑になることはしないなど、社会性を身に付けていける姿をみせていくことや、地域社会の人にあいさつしたり「ありがとう」と感謝する気持ちを素直に言葉に表すことも伝えたいと考えています。子どもは大人の鏡です。言葉使いなどは気を付けたいものです。



就学に向けてこんなことができていると良いね!

- 次の日に使うものの準備(リュックなど)ができる
- 時計を見ながら見通しをもった生活ができる
- 自分の思いを自分の分かる言葉で伝えられる
- 一定の時間内にご飯を食べ終えることができる
- 体調が悪いときに、自分から伝えることができる
- 友だちと遊び、助け合うことができる
- 公共のマナー・ルールが守れる

① ワンポイントアドバイス



早期教育よりも親子のコミュニケーション

就学前ということで文字を読んだり書いたりすることが気になりますが、勉強だけなら小学校に入ってからも十分間に合います。この時期に親子でたくさん遊び、会話を重ねることで、子どもたちは相手の気持ちを考えるようになり、自分の思いを表現する力もつけていきます。幼児期の今しかできない経験を大切に、心の豊かさにつなげていきましょう。

